

自昭和18年度至昭和22年度業務報告

目次

緒言

昭和18年度

第一 漁撈部

1. 水銀ランプ應用集魚燈基礎試験 1
2. 染料試験 4
3. 海幸丸建造概要 8

第二 製造部

1. 魚介藻類利用加工試験 9

第三 養殖部

1. 小鮎移殖事業 11
2. 稻田養鯉用種苗配給事業 12
3. こういか(*Sepia esculenta* Hayle) ... 13
生態の二、三に就いて
4. 愛知縣下に水揚される深海蝦類に ... 20
就いて

昭和19年度

第一 漁撈部

1. 相鮫漁業試験 25
2. 深海手繰網漁業試験 25
3. 機船底曳網漁業試験 25

第二 製造部

1. 戦時食糧製造試験 34
2. 「めくらうなぎ」鬆皮製造試験 34

第三 養殖部

1. 小鮎移殖事業 35
2. 稻田養鯉用種苗配給事業 36
3. 浮筏試験 37

昭和20年度

第一 漁撈部

1. 底曳網漁業試験 44
2. 代用染料試験 44

第二 製造部

1. 塩乾品製造試験 47
2. 冷凍製塩並に鹹水利用試験 47

第三 養殖部

1. 小鮎移殖事業 48
2. 稻田養鯉用種苗配給事業 48
3. 鳥貝漁期及び万牙の目合の制限に ... 49
関する吟味

昭和21年度

第一 漁撈部

1. 漁場開発に関する試験 51

第二 製造部

1. 水産食糧製造加工試験 56
2. 冷凍製塩並に鹹水利用試験 57

第三 養殖部

1. 小鮎移殖事業 58
2. 稻田養鯉用種苗配給事業 58

昭和22年度

第一 漁撈部

1. 漁場開発試験 60

第二 製造部

1. 未利用水産物利用加工試験 69
2. 冷凍製塩並に鹹水利用試験 70

第三 養殖部

1. 小鮎移殖事業 73
2. 稻田養鯉用種苗配給事業 73
3. 幸田村大草溜池の生産量 74

緒 言

今回、昭和18年度より同22年度に至る4箇年に亘る本場業務報告の一括出版するに当り、江湖諸彦の御了解を願いたく一言附言します。

本場業務の報告は昭和17年度迄は累年発刊中でありましたが、戦局苛烈を加うるに連れて、資材・予算・其の他あらゆる面の事情に禍され、止むなく発刊中止の状態となって今日に至りましたが、戦後世情も漸く平衡なる情勢に復しましたから、上記の通り4箇年合冊発刊に及んだものであって、その内容は戦争前後を画し充分なる試験研究も出来ず、極めて簡略なるものですが、一応業績発表の資としたく、尙、特に内容に亘り質疑の点、或は検討を希望される向は、直接本場に照会下されば、各試験調査の資料の保有する限り御回答致す考えでありますから、御了承下さるよう重ねて附言します。